

つがる西北五 広域連合広報誌

2014

9

創刊号



HP: www.tsgren.jp



平成26年4月1日 つがる総合病院開院式の様子



つがる西北五広域連合

Tsuraru Seihokugo Region Union

つがる西北五広域連合広報誌の創刊にあたって



つがる西北五広域連合

連合長 平 山 誠 敏

広域連合広報誌の創刊にあたって、一言ご挨拶を申し上げます。

広域連合は、平成11年3月に西北五地域の14市町村により広域市町村圏計画や介護認定審査会運営等の広域的な行政事務を行うことを目的として設立されました。

平成14年に県主導による西北五保健医療圏の自治体病院機能再編成計画が策定され、広域連合が再編成後の自治体病院、診療所運営の受け皿として計画されたことに伴い、平成15年より圏域独自の再編成計画の策定を進め、平成17年の市町村合併に伴う2市4町への構成変更を経て、本年4月につがる総合病院が開院

し、自治体病院機能再編成に伴う各医療機関の施設整備が完了しました。

今後、つがる総合病院を中心とした各サテライト病院、診療所との緊密な連携のもと圏域の皆様により円滑な医療の提供に尽力してまいります。広域連合や病院等の様々な情報を多くの方々にご理解いただきたいと考え、この度、広報誌を発行することといたしました。

皆様の健康を担う広域連合として、身近に感じていただくために、有意義な情報を掲載し、ご愛読いただける広報誌を目指してまいります。で、よろしく願いいたします。



つがる西北五広域連合

病院事業管理者 棟 方 昭 博

今般、つがる西北五広域連合広報誌が発刊されることとなりました。

つがる西北五広域連合が行っております病院事業は、医師不足と経営難等自治体病院を取り巻く情勢が極めて厳しい中、この西北五保健医療圏において、自治体病院の機能を再編し、新たに圏域の中核となる総合病院を建設、周辺のサテライト医療機関との緊密な連携のもと質の高い医療を提供するものです。

中でもつがる総合病院は、西北五圏域における脳卒中、がん、糖尿病、心筋梗塞等の生活習慣病の一般的な医療を完結させることにより、地域医療の底上げを図ることを目指しており、地震の影響を受けにくい免震構

造の採用や高度医療機器の整備、また立体駐車場を併設し、圏域全体の急性期病院としての役割を担うべく、快適な病院づくりに努め、平成26年4月1日に無事開院したところです。

現在の課題といたしましては、二次医療機能は十分ではあるものの、需要の高い医療については、三次に近い医療機能を目指しており、関係特定診療科の常勤医確保とサテライト医療機関との円滑な連携体制の構築であります。

今後とも、本課題の解決に鋭意努めつつ、地域の医療に貢献して参る所存であり、本広報誌により、住民の皆様の病院事業へのご理解を深めていただければ幸いです。

※1 中核病院の後方支援を行う、かなぎ病院、鯉ヶ沢病院、つがる市民診療所、鶴田診療所の4医療機関
 ※2 入院を要する救急医療を担う医療機能
 ※3 救命救急医療（特に脳卒中、急性心筋梗塞、重症外傷等）を担う医療機能



つがる西北五広域連合について

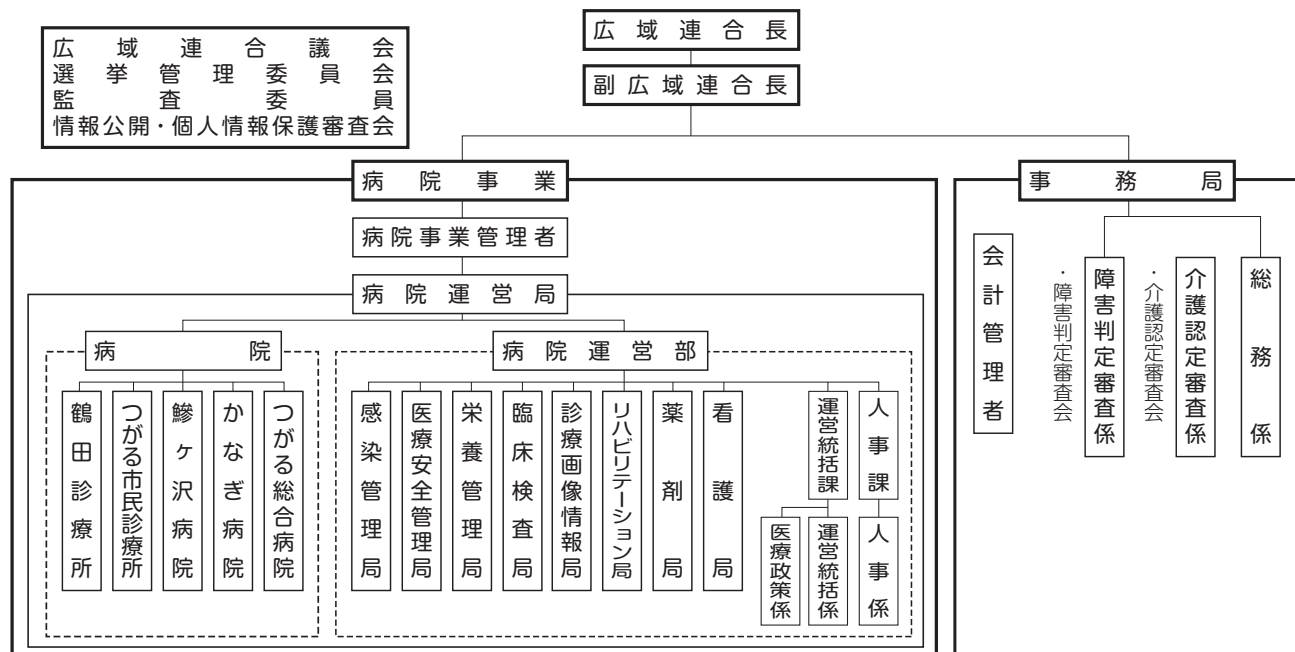
広域連合広報誌の創刊にあたり、設立の経緯や組織、業務内容等をお知らせします。

○設立の経緯

近年の交通網や情報網の発達により、住民の生活圏は市町村の枠を超えて大きく広がり、行政運営にも広域的な視点が求められるようになりました。また、多様化する行政需要に対し厳しい財政状況もあり、市町村間の連携と効率的な行政運営が不可欠となっています。このような住民のニーズに応えるため、平成11年3月に五所川原市を中心とした14市町村で構成された広域連合として青森県で2番目に誕生しました。

現在は平成17年の市町村合併を経て、五所川原市、つがる市、鱈ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の2市4町の構成となっています。

○組織



○業務内容等

広域連合の業務等は広域連合長以下大きく事務局と病院事業に分かれています。その主なものをお知らせします。

- ・ **広域連合長**……構成市長、町長の中から、構成市長、町長による選挙により選任されます。
- ・ **副広域連合長**…連合長以外の市長、町長全員が就任します。
- ・ **広域連合議会**…定例議会は年2回開催されます。連合議員は構成市町の議会において議員の中から選挙により選任されます。構成は次のとおりです。五所川原市3名、つがる市2名、鱈ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町各1名、計9名
- ・ **事務局**
 - * **総務係**…広域連合議会や各種委員会の開催、事務局の庶務を行います。
 - * **介護認定審査係**…介護認定審査会で要介護度の二次判定を行い、結果を構成市町に送付します。
介護認定審査会委員／24合議体(1合議体5名)120名、医師等学識経験者、審査件数年間約10,000件
 - * **障害判定審査係**…障害判定審査会で障害支援区分の二次判定を行い、結果を構成市町に送付します。
障害判定審査会委員／3合議体(1合議体5名)15名、医師等学識経験者、審査件数年間約400件
協議会委員／25名、障害福祉関係機関職員、教育関係者等
- ・ **病院事業**…地方公営企業法により運営されています。
 - * **病院運営部**…病院事業の統括及び事務処理を行います。
 - * **病院**…つがる総合病院を中心にかなぎ病院、鱈ヶ沢病院のサテライト病院（後方支援）と無床のつがる市民診療所、鶴田診療所で構成されています。
- ・ **連合章**…平成25年3月26日に一般からの公募により制定しました。つがる西北五広域連合の「つ」をモチーフにデザイン。6つの「つ」のつながりは広域連合を構成している2市4町のコミュニケーションを象徴しています。カラーは海などの自然をイメージしたブルーです。（左上マーク）

つがる総合病院

TSUGARU GENERAL HOSPITAL



院長 長 杉 滝 夫
院 高

■開院から5か月が経ちました

早いもので、つがる総合病院の開院から5か月が経ちました。

前身の西北中央病院と同様、つがる総合病院は地域の皆様に支えられながら西北五地域の中核病院として、良質で安全な医療を提供するため日々努力しているところです。

心配された立体駐車場の混雑や周辺の渋滞もなく、2階の外來フロアを主に案内係員を配置した結果、院内においても大きな混雑は見られません。皆様のご理解・ご協力のおかげで、開院当初からスムーズな診療を行うことができ、良いスタートを切ることができたと思っております。

これから患者さんやご家族等の貴重なご意見・ご感想を参考に、より良い病院づくりに努めたいと考えております。

開院から5か月

～救急外來の現在～

■医療スタッフと地域住民の

想いをひとつにしたい

4月の開院以来、救急車搬入は、月50台ほど増加しました。現在、月200台以上を受け入れております。

つがる総合病院は、西北五地域住民の大切な命を救うためになくてはならない病院です。救急車で搬入される重症患者さんを多数受け入れなければなりません。

救急車が2台、3台と重なって到着する場面も多く、医師を含め医療スタッフたちは懸命に処置をしております。

当院には、救急外來専門の医師がおりません。そのため、日中、重症患者さんが搬入されると、外來診療中の医師も救急外來に駆けつけることが度々あります。

それゆえに外來を受診している患

者さんにご家族の方には、待ち時間が長くなるなどご迷惑をおかけしておりますが、日頃からご理解・ご協力をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

一方、夜間救急外來に、自家用車や徒歩等で受診する患者さんの数も増加しております。

24時間営業病院のように、手軽に利用する「コンビニ受診」が増加しているのが現状です。

このままだと、本当に必要としている人が、適切な処置を受けられなくなりそうです。

どのような症状の時に利用するべきなのか、地域住民の皆さんにもう一度考えていただきたいと思います。

この地域の医療機能を支えるのは、地域住民の理解と意識です。ご協力をよろしくお願いいたします。



混雑する救急外來待合室

数字で分かる！

つがる総合病院

病床数

438 床

(一般390床、精神44床、感染症4床)

個室:122床

2人部屋:8床

4人部屋:308床

※オープンベット方式のため、お部屋の空き状況によっては、他の診療科に入院していただくこともあります。



1日平均 入院患者数

274 名

(平成26年6月実績)



1日平均 外來患者数

698 名

(平成26年6月実績)



再来受付機の台数

4 台

2Fエスカレーター付近と2F医事課総合案内窓口前に、各2台ずつ設置しています。

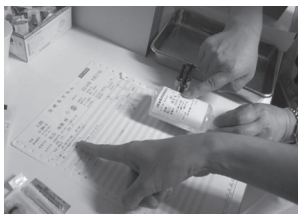


信頼される病院を目指し 良質で安全な医療サービスに向けた取り組み

病院全体で取り組んでいる業務改善と管理体制の強化。その一部をご紹介します。

指差し呼称の徹底

二人で指を差してなぞり、声を出して伝票や薬品等の確認を行っています。



正確な患者確認

患者間違いを防ぐため、ご自分のお名前をフルネームで名乗ってもらっています。ご協力をお願いします。



医療機器の管理

医療機器は、使い方を誤ると生命や健康に重大な影響を与えます。安全に利用するため、定期的な保守・点検を行っています。



感染対策の徹底

感染対策専従の看護師指導の下、全職員が感染対策に対する教育を受けています。



感染を防ぐ効果的な
手洗い指導

災害訓練

大事故や災害時等に備えて、多数傷病者受け入れ訓練等を行っています。



災害対策

自家用発電機と熱源設備、給水備蓄設備があります。自家用発電機は、約4日間電気を供給できます。



西北五地域全体の研修会

当院主催で、医療関係者や福祉関係者向けの医療安全・感染対策・接遇向上に関する研修会を行い、地域全体で取り組んでいます。



セキュリティ強化

監視カメラを設置し、病棟等の施錠、入室者記録、個人情報の漏洩対策も強化しています。



かなぎ病院

地域の皆様へ 良質な医療を



副院長 小沼 譲

かなぎ病院は、昭和33年

10月に旧金木町・旧中里町一部事務組合公立金木病院として開設されました。以来、津軽半島北西部唯一の公的病院として地域住民の健康を守る医療活動を継続してまいりました。

しかし、西北五圏域自治体病院の医師不足が長期的に深刻な状態となり、当院においても、特に救急医療の存続が危ぶまれる時期があり、持続可能な医療サービス提供体制を構築することが急務でした。

この問題の解決を図るために「圏域全体がひとつの病院となって地域医療を支えていく体制の構築を

目指す」という基本理念のもと、平成24年度からつがる西北五広域連合が圏域5自治体病院の一体運営を開始することになり、これに合わせ病院名が「かなぎ病院」に改められました。

「つがる総合病院」を中心とした、西北五医療圏域のサテライト病院として、地域住民に対する初期診療、各種健康診断、急性期治療後の在宅復帰に重点を置いて、スタッフ一丸となって取り組んでおります。

これからも受診される患者さまならびにご家族の皆さまへ、良質な医療と、安心・満足をご提供できるように努めたいと考えております。

鰺ヶ沢病院

信頼される丁寧で確実な

医療提供を目指す



院長 星野 恵治

当院は、昭和37年5月より、鰺ヶ沢町立中央病院として開設されて以来、青森県西海岸唯一の公的病院として、へき地拠点病院及び救急医療の役割を担い、地域の皆さまに医療を提供しております。

平成24年度からは、自治体病院機能再編成計画により、名称を「鰺ヶ沢病院」と改め、つがる総合病院との連携を図るサテライト病院として、重要な役割を担うこととなりましたが、当院の基本理念である「地域住民から信頼される丁寧で確実な医療の提供」は、今も変わることなく、全職員が一丸となって取り組んで

おります。

近年、地域医療については医師をはじめ、医療職員の確保が厳しく、充実した医療サービスを提供することが難しい状況ですが、当院は広域連合の一体運営の中で、他の病院との医療資源を共有し、有効的に活用すること、地域住民の皆さまにはこれまで以上に安心した医療と充実したサービスの提供をすることが出来るものと考えております。

当院は、鰺ヶ沢町の中心部に位置しており、日本海を目前に、また、岩木山が眺望できます。地域住民の皆さまにはこの自然に恵まれた環境と、確かな知識と豊富な経験を積んだ私たち医療スタッフのもとで、病気を治療して頂ければと思っております。

つがる市民診療所

**がん検診と生活習慣病予防
を柱に市民の健康を守る**



所長 村 秀 輝
所 岩

大人の病気は大きく分けると「がん系」と「血管系」の2つに分けられます。がん系は遺伝、ウイルス、ピロリ菌、タバコ、アルコールなどが関与し、血管系は生活習慣が大きく関係してきます。

脳卒中や心筋梗塞のような血管系の病気は、本人がただでなく、介護も長期化し疲弊している家族も多くいます。

したがって、自立した生活ができる「健康寿命」が大切となります。

つがる市は、がん検診の無料化や胃がん撲滅のためのピロリ菌検査など、市独自の事業に積極的に取り組んでいます。行政が乗り気でないとい

療従事者も萎えてしまいが、いろいろな協力や支援をしていただき、大変助かっています。

つがる市民診療所は、つがる総合病院のサテライト診療所として、次の医療を提供します。

①市民への初期医療の提供：日常的な病気の治療や相談に応じ、入院や精密検査が必要な場合は、適切な病院を紹介する「かかりつけ医」の役割を果たします。

②初期救急の対応：診療時間内における入院を伴わない初期救急に対応します。

③予防接種や健康診断への対応：病気予防や早期発見のため、予防接種や健康診断を実施します。レントゲン撮影やコンピュータ断層撮影(CT)など、最新の医療機器に更新して高度な検査にも対応します。また、血管年齢を測定する機器が新たに導入され、動脈硬化の予防にとっても役立つております。

※内科は、午後の診療もっています。

鶴田診療所

鶴田診療所から

住民の皆様へ



所長 名 鉄 徳
所 蝦

当診療所は、人口約一万四千人の鶴田町にあり、つがる総合病院のサテライト医療機関としてこの地域の初期医療、かかりつけ医機能を担うことを使命としています。

その使命達成をめざし内科、外科、小児科、眼科の4科がそれぞれ専門性を活かした診療を行っています。常勤医師は内科1名ですが、弘前大学や他医療機関から多くの非常勤医師を派遣していただいております。放射線技師1名、看護師9名、事務系8名のスタッフと協力しながら診療しています。

地域のニーズに合わせ、生活習慣病の治療、検診業務、訪問診療などが当診療所の主な業務ですが、特に消化器疾患の診断と治療を得意分野としています。平成25年1月に診療所を新築した際に電子カルテを導入し、胃内視鏡システム、大腸内視鏡システム、全身用X線CT診断装置、X線テレビシステム、超音波診断装置などを最新の機種に更新しました。それにより最新の機種によるデータを基に、電子カルテ上での病院間連携が可能になっております。

今後も、各医療機関と連携を図りながら、地域住民に安全で良質な医療を提供し、信頼される診療所となるよう、職員全員で努力してまいります。



西北五地域の自治体が一つになって 地域の医療を支えます



つがる市民診療所

〒038-3131
青森県つがる市木造千年4番地
TEL.0173-42-3111
FAX.0173-42-1526

- 病床数／なし
- 診療科／内科、糖尿病内科、外科



かなぎ病院

〒037-0202 青森県五所川原市金木町菅原13番1
TEL.0173-53-3111／FAX.0173-53-2407

- 病床数／100床（一般60床・療養40床）
- 診療科／内科、外科、整形外科、眼科、小児科
婦人科、皮膚科（休診中）



鶴田診療所

〒038-3503
青森県北津軽郡鶴田町
大字鶴田字鷹ノ尾34番地
TEL.0173-22-2261
FAX.0173-22-5484

- 病床数／なし
- 診療科／内科、外科、小児科、眼科



鱒ヶ沢病院

〒038-2761
青森県西津軽郡鱒ヶ沢町
大字舞戸町字蒲生106番地10
TEL.0173-72-3111
FAX.0173-72-3367

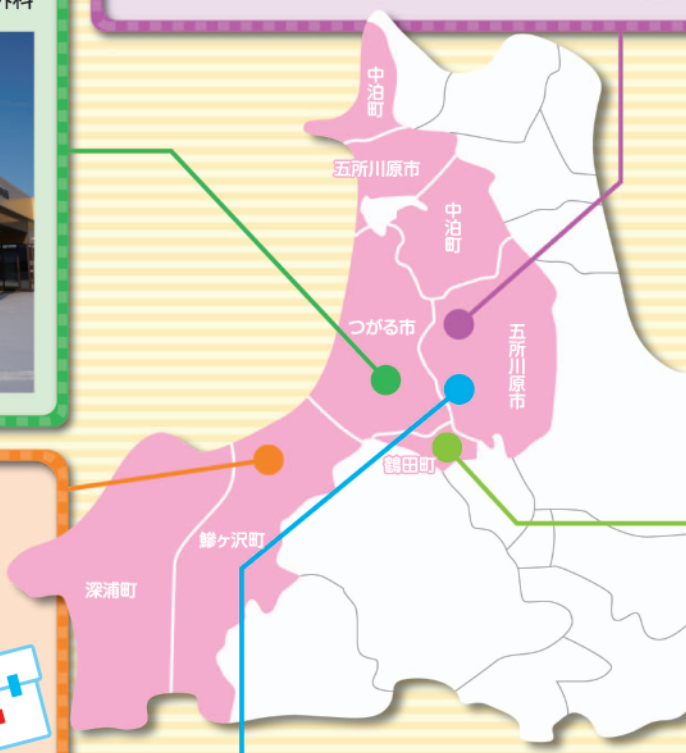
- 病床数
100床（30床 休床中）
- 診療科
内科、外科、小児科、整形外科
婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科



つがる総合病院

〒037-0074 青森県五所川原市字岩木町12番地3
TEL.0173-35-3111（代表）
FAX.0173-35-0009

- 病床数
438床（一般390床・精神44床・感染症4床）
- 診療科
消化器・血液・膠原病内科（旧第一内科）、
循環器・呼吸器・腎臓内科（旧第二内科）、
内分泌・糖尿病・代謝内科（旧第三内科）、
神経内科、一般・内視鏡・心血管・呼吸器・乳腺外科、小児外科、消化器外科、形成外科、
整形外科、小児科、産科婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、
精神科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、歯科口腔外科



かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医は、皆さんの病状・病歴・健康状態を把握しているので、診察、治療等の他にも、健康のためのアドバイスや、必要があれば、他の病院や専門医を紹介してもらえるなど様々なメリットがあります。

西北五地域は、つがる総合病院を中核として、その他の公的・民間の病院・診療所等（皆さんのかかりつけ医）との連携をさらに充実させ、発症から症状を安定させること、また、回復するまでの医療を分担して提供することによって、医療及び介護の充実が図られ、地域で持続性のある適切な医療・介護を受けられるようになります。

地域全体で完結する
医療の提供

